

借入金利が「上がった」企業割合は57.9%

「小企業の借入に関する調査」結果
～全国中小企業動向調査(小企業編)2025年10-12月期特別調査～

- 借入金残高が1年前と比べて「減少した」企業の割合は54.0%と、2024年から0.6ポイント上昇した。「増加した」企業の割合(18.3%)を大きく上回っている。
- 2025年に借入した(する予定)企業の資金用途は、「日常的な仕入・経費支払」が52.2%と最も多く、次いで「余剰手元資金の確保」(24.8%)、「設備の更新・補修」(19.5%)、「売上増加に伴う仕入・経費支払」(18.6%)の順となっている。
- 2025年に借入した(する予定)企業のうち、借入金利が前年と比べて「上がった」と回答した企業割合は57.9%、と2024年から7.5ポイント上昇した。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:大橋、渡辺)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

[調査の実施要領]

調査時点 2025年12月中旬
調査対象 当公庫取引先 10,000 企業
有効回答数 6,229 企業 [回答率 62.3 %]

<業種構成>

		調査対象	有効回答数	
製造業	(従業者20人未満)	1,500 企業	894 企業	(構成比 14.4 %)
卸売業	(同 10人未満)	800 企業	626 企業	(同 10.0 %)
小売業	(同 10人未満)	2,450 企業	1,427 企業	(同 22.9 %)
飲食店・宿泊業	(同 10人未満)	1,800 企業	944 企業	(同 15.2 %)
サービス業	(同 20人未満)	2,000 企業	1,377 企業	(同 22.1 %)
情報通信業	(同 20人未満)	160 企業	64 企業	(同 1.0 %)
建設業	(同 20人未満)	1,100 企業	759 企業	(同 12.2 %)
運輸業	(同 20人未満)	190 企業	138 企業	(同 2.2 %)

1 借入残高

- 金融機関からの借入金残高の増減をみると、1年前と比べて「減少した」と回答した企業の割合は54.0%と、2024年から0.6ポイント上昇した。「増加した」企業の割合（18.3%）を大きく上回っている。
- 従業員規模別にみると、規模が大きい企業ほど「増加した」と回答した割合が高い傾向にある。

図-1 1年前と比べた借入金残高の増減

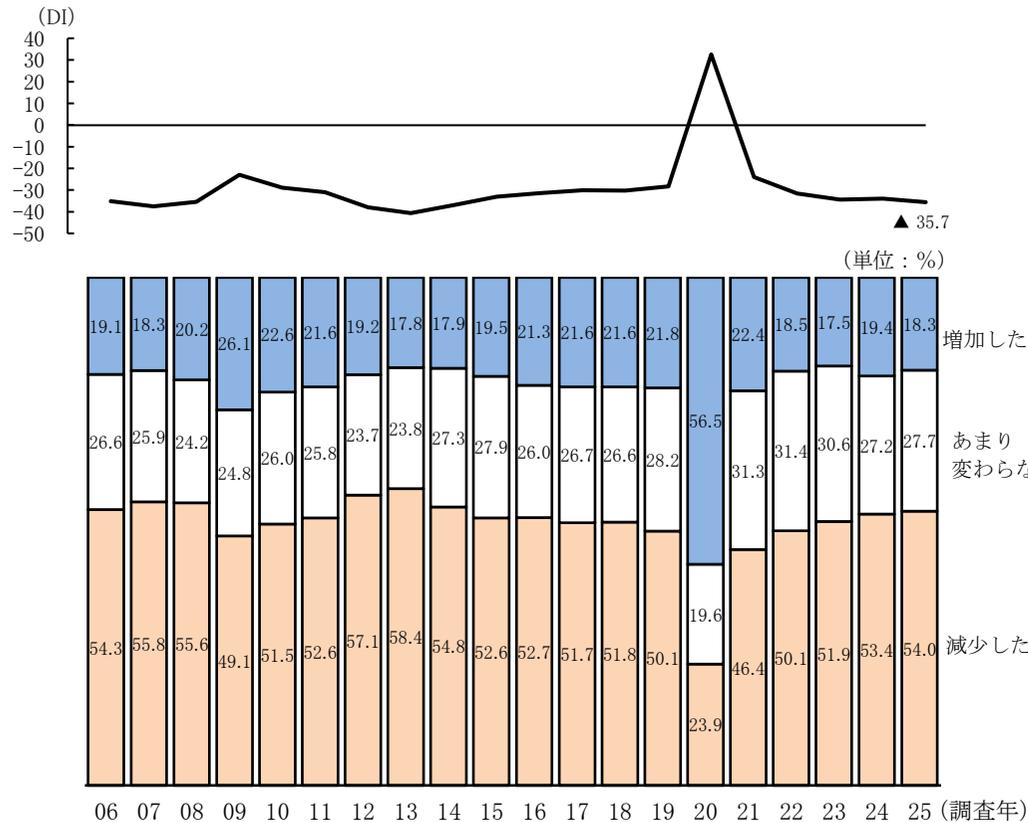
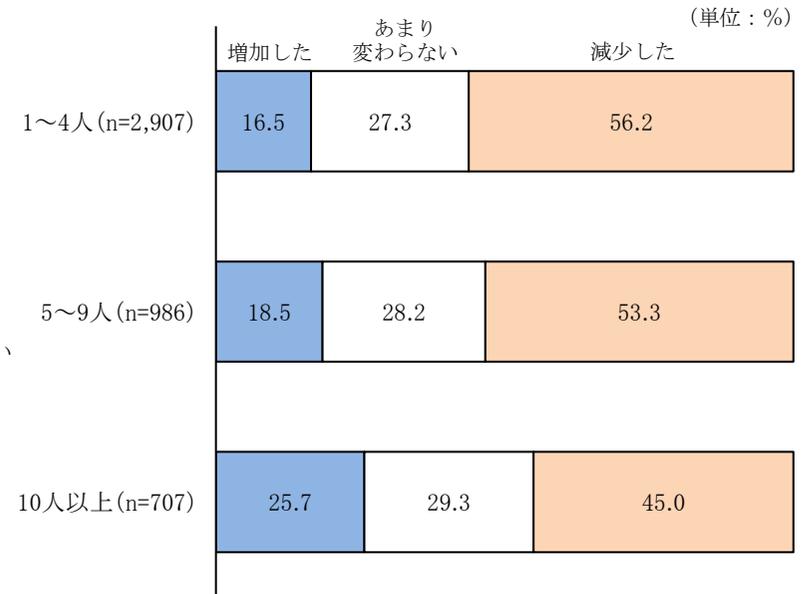


図-2 1年前と比べた借入金残高の増減（2025年、従業員規模別）



(注) 1 事業資金借入のうち、金融機関からの借入金の残高。住宅ローンなどの事業用ではない借入金は除く。役員、従業員、販売先など金融機関以外からの借入金は除く（以下同じ）。
 2 回答割合は小数第2位を四捨五入して表記しているため、その合計が100%にならない場合がある（以下同じ）。
 3 借入金残高増減DI=「増加した」企業割合-「減少した」企業割合

- 借入金残高の水準に関する認識をみると、「適正」と考えている企業が全体の62.1%を占める一方、「過大」と考えている企業の割合も33.0%を占める。
- 従業員規模別にみると、規模が大きい企業ほど「過大」と回答した割合が高い傾向にある。

図-3 借入金残高の水準に関する認識

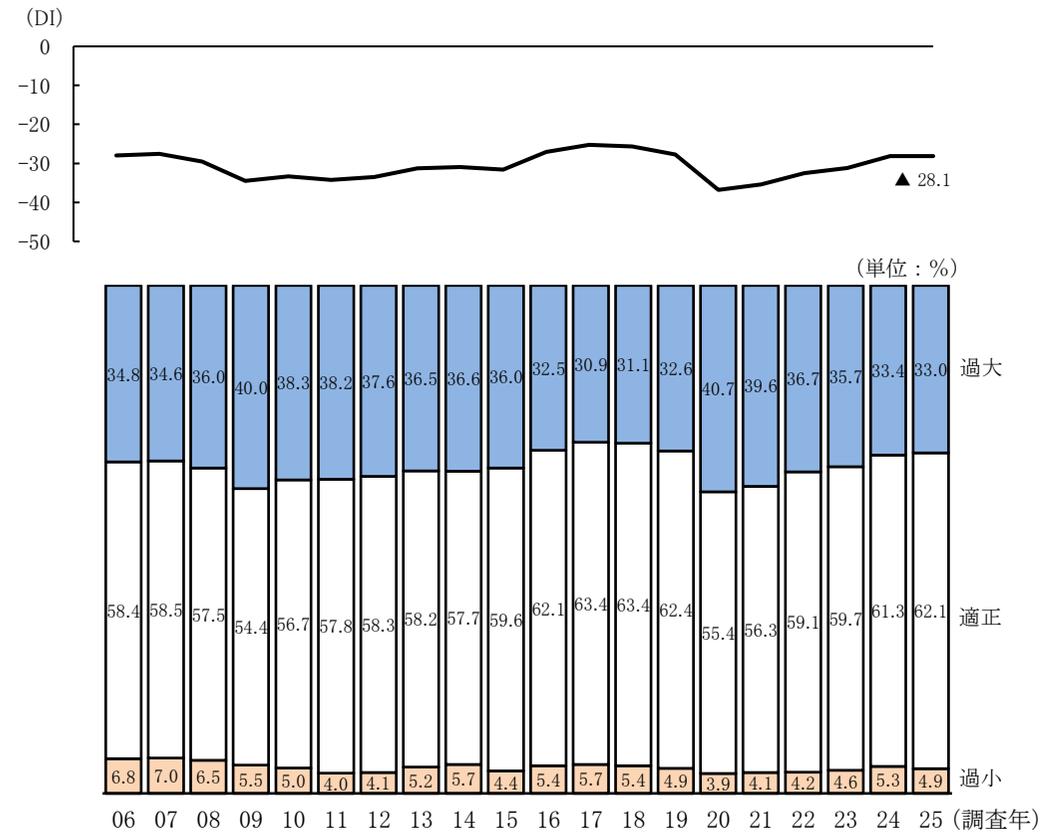
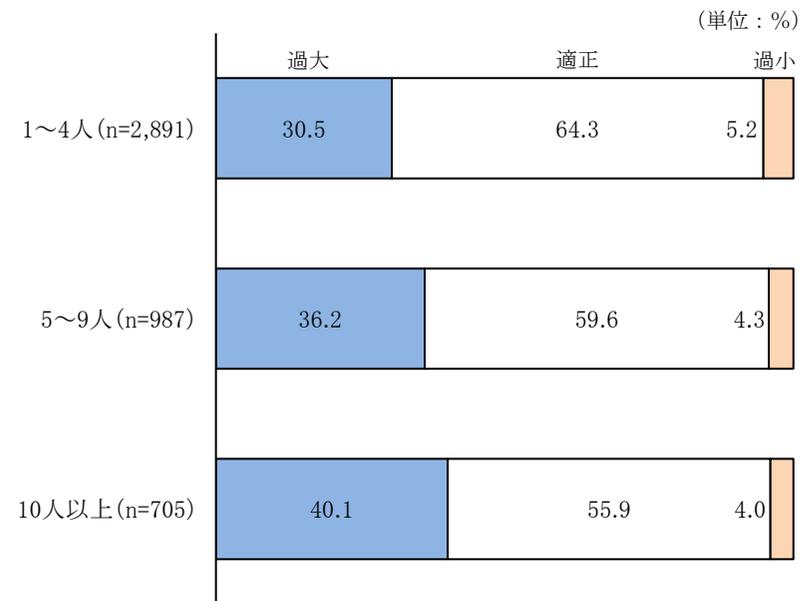


図-4 借入金残高の水準に関する認識 (2025年、従業員規模別)



(注) 借入金残高水準DI = 「過小」企業割合 - 「過大」企業割合

- 今後1年間の借入金残高に関する方針をみると、「減らす」と回答した企業の割合は58.3%と、「増やす」企業の割合（9.0%）を大きく上回っている。
- 従業者規模別にみると、規模が大きい企業ほど「増やす」と回答した割合が高い傾向にある。

図-5 今後1年間の借入金残高に関する方針

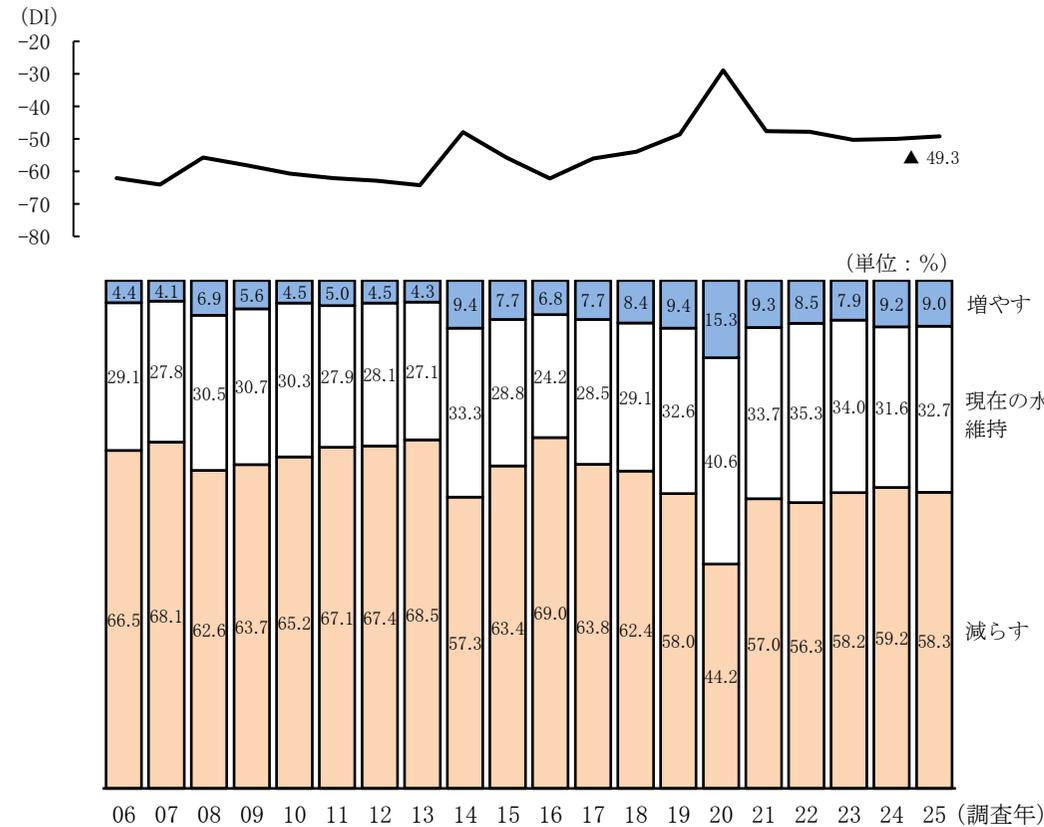
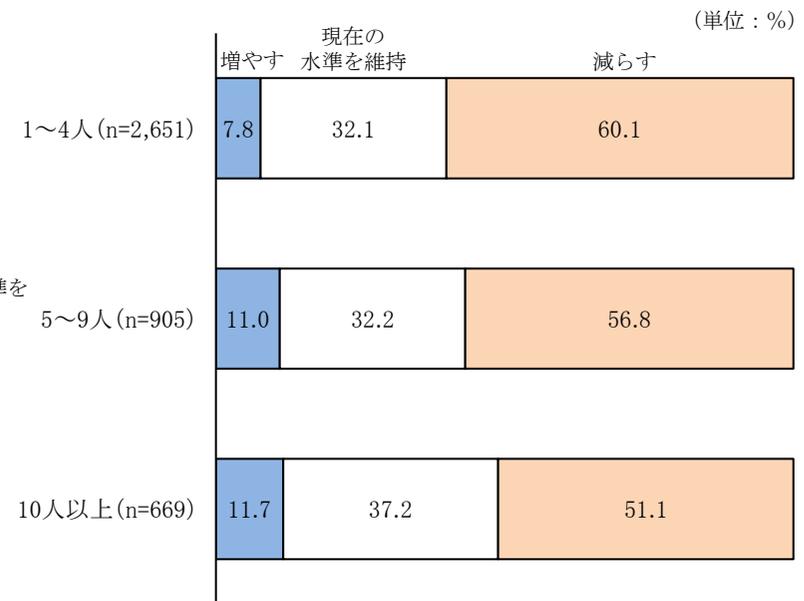


図-6 今後1年間の借入金残高に関する方針（2025年、従業者規模別）

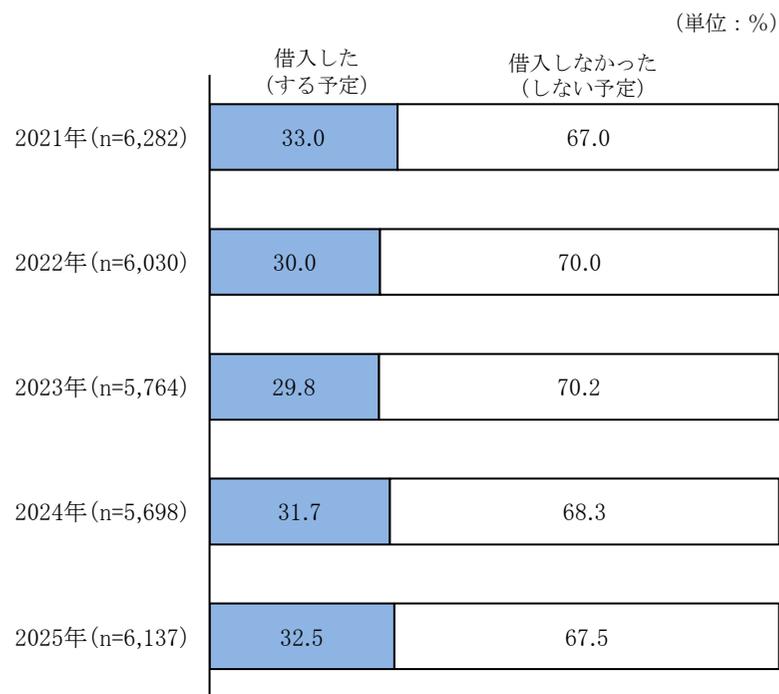


(注) 借入金残高方針DI=「増やす」企業割合-「減らす」企業割合

2 借入の実施状況

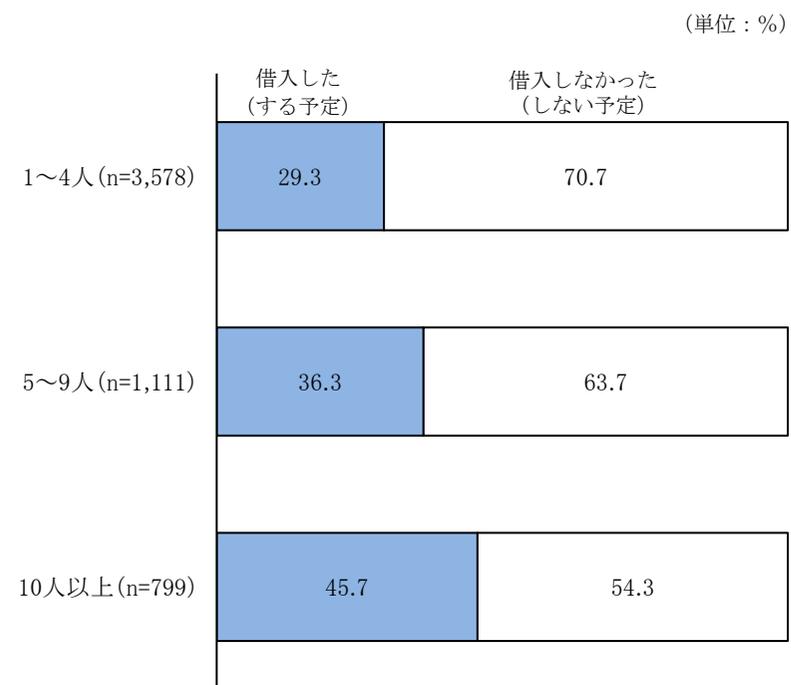
- 2025年に「借入した（する予定）」と回答した企業割合は、32.5%と2024年から0.8ポイント上昇した。
- 従業員規模別にみると、規模が大きい企業ほど「借入した（する予定）」と回答した割合が高い傾向にある。

図-7 借入の実施状況



(注) 予定も含む。

図-8 借入の実施状況（2025年、従業員規模別）

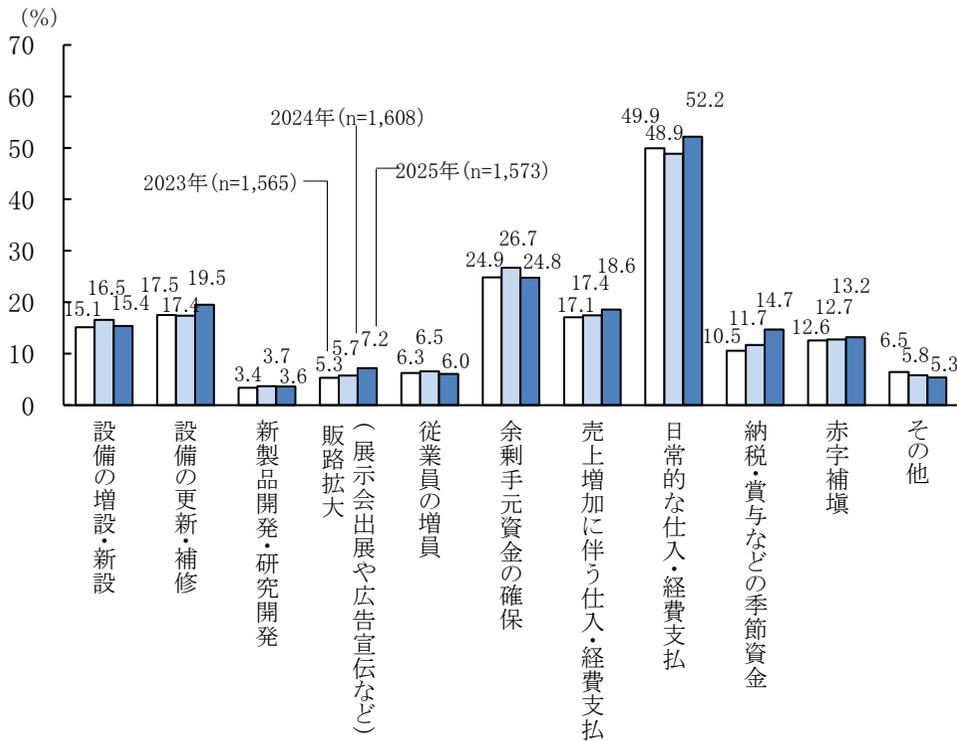


(注) 図-7に同じ。

3 借入の資金使途

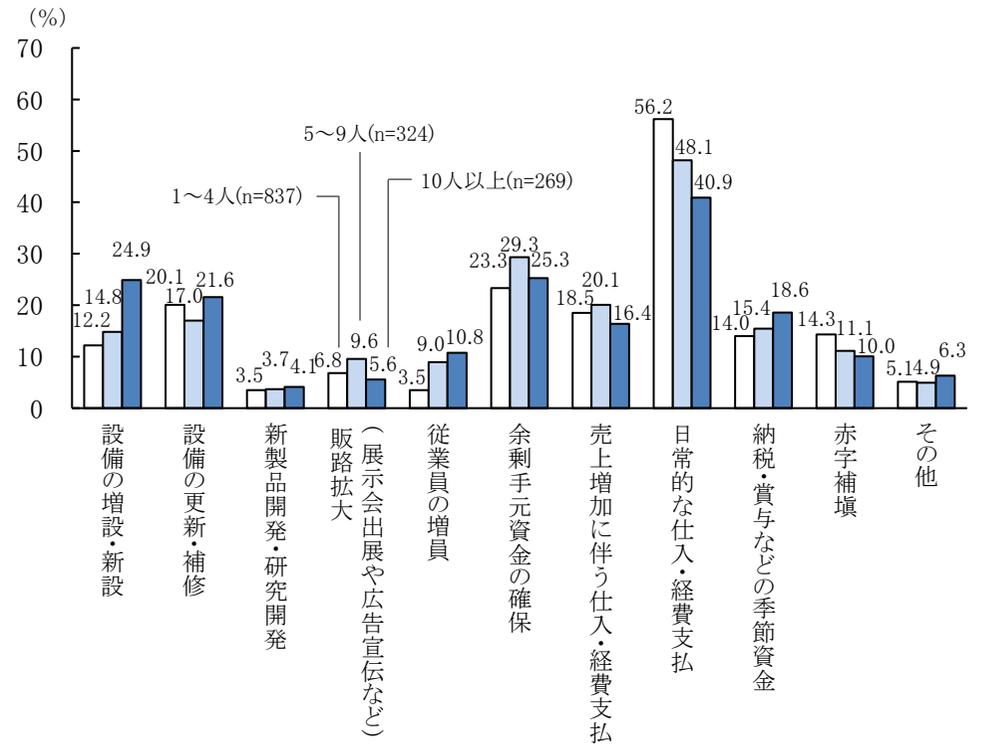
- 2025年に借入した（する予定）企業に、そのうちで最も大きな借入の資金使途について尋ねたところ、「日常的な仕入・経費支払」が52.2%と最も多く、次いで「余剰手元資金の確保」（24.8%）、「設備の更新・補修」（19.5%）および「売上増加に伴う仕入・経費支払」（18.6%）の順となっている。
- 従業者規模別にみると、「設備の増設・新設」「納税・賞与などの季節資金」「従業員の増員」などでは規模が大きいかいほど割合が高い傾向があるのに対し、「日常的な仕入・経費支払」「赤字補填」では規模が小さいほど割合が高い傾向がある。

図-9 借入の資金使途（複数回答）



(注) 金融機関から借入した（する予定）企業に、そのうちで最も大きな借入について尋ねたもの。

図-10 借入の資金使途（2025年、複数回答、従業者規模別）

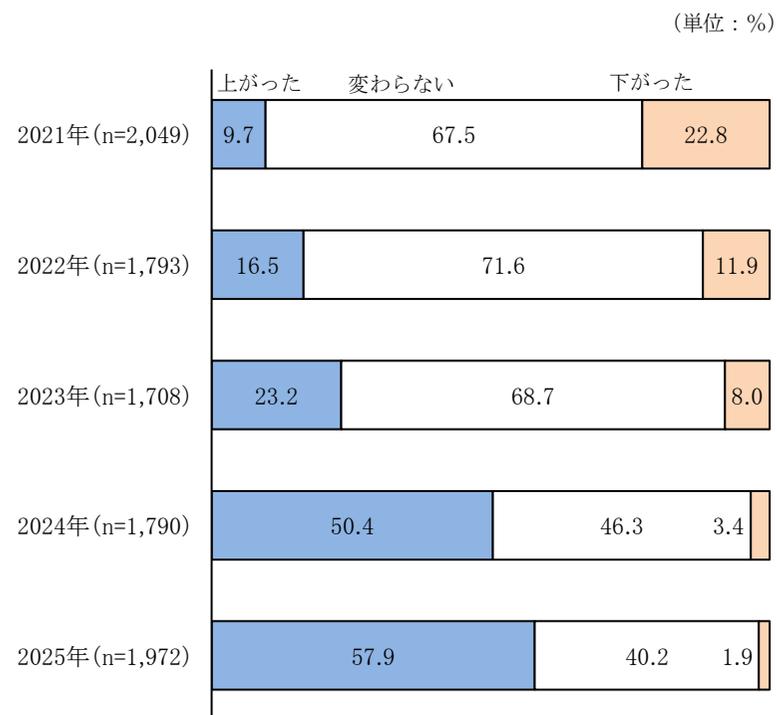


(注) 図-9に同じ。

4 借入金利の変化

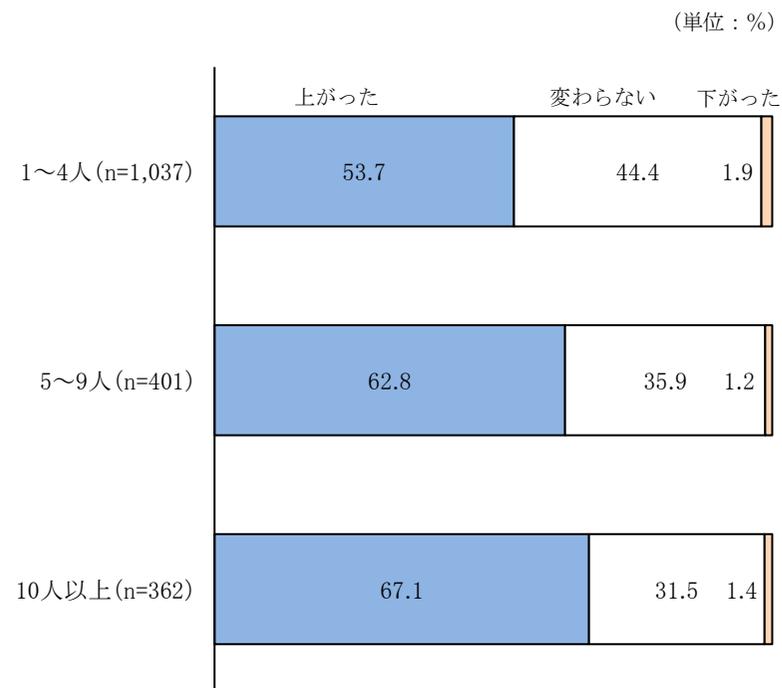
- 2025年に借入した（する予定）企業のうち、借入金利が前年と比べて「上がった」と回答した企業割合は、57.9%と2024年から7.5ポイント上昇した。
- 従業員規模別にみると、規模が大きい企業ほど「上がった」と回答した割合が高い傾向にある。

図-11 借入金利の変化（前年比）



(注) 各年「借入した（する予定）」と回答した企業について集計。

図-12 借入金利の変化（2025年、前年比、従業員規模別）



(注) 2025年に「借入した（する予定）」と回答した企業について集計。

5 金融機関からの接触頻度

- 2025年後半に金融機関からの接触頻度が「増えた」と回答した企業割合は、メインバンクについては6.6%、メインバンク以外については7.4%となった。一方、「減った」と回答した企業割合は、それぞれ14.6%、14.7%となっている。いずれの金融機関についても「変わらない」と回答した企業割合が8割弱を占めている。
- 従業者規模別にみると、規模が大きい企業ほど「増えた」と回答した割合が高い傾向にある。

図-13 金融機関からの接触頻度
(各年7～12月について、前年同期比)

	(単位：%)		
	増えた	変わらない	減った
<メインバンク>			
2021年 (n=6,020)	7.1	76.2	16.7
2022年 (n=5,771)	6.8	77.0	16.2
2023年 (n=5,478)	7.5	77.6	14.8
2024年 (n=5,441)	6.6	79.4	14.0
2025年 (n=5,906)	6.6	78.8	14.6
<メインバンク以外>			
	増えた	変わらない	減った
2021年 (n=5,445)	6.4	76.6	17.0
2022年 (n=5,279)	6.2	77.3	16.4
2023年 (n=5,033)	6.7	77.9	15.4
2024年 (n=5,023)	7.0	78.5	14.5
2025年 (n=5,453)	7.4	77.9	14.7

図-14 金融機関からの接触頻度
(2025年7～12月について、前年同期比、従業者規模別)

	(単位：%)		
	増えた	変わらない	減った
<メインバンク>			
1～4人 (n=3,428)	5.1	79.8	15.0
5～9人 (n=1,081)	7.7	77.8	14.5
10人以上 (n=784)	13.0	75.5	11.5
<メインバンク以外>			
	増えた	変わらない	減った
1～4人 (n=3,133)	5.6	79.6	14.8
5～9人 (n=1,009)	9.7	76.1	14.2
10人以上 (n=754)	13.8	72.8	13.4